第５３回大阪府環境審議会の開催結果の概要

日　時：平成 28 年 3 月 25 日（金）午後 3 時～
場　所：プリムローズ大阪（2 階）「鳳凰（東）」

１．河川水質環境基準に係る類型指定について（諮問）

水質汚濁に係る環境基準については環境基本法に基づき定められており、このうち生活環境の保全に関する環境基準は、水域の利用目的に対応して複数の類型が設けられており、これらのいずれかの類型を当てはめ指定することとなっている。府内河川の類型指定は平成 21 年 6 月の見直し以降、5 年以上が経過しており、より一層の水質保全を図るために適切な見直しを行う必要があることから、知事から諮問を行った（石川環境農林水産部長から奥野会長に諮問文を手交）。

審議の結果、専門性が高く、集中的な議論が必要であることから、水質部会で検討を進めることが決定された。

２．大阪府における流入車対策及び大型車を中心とする自動車環境対策の新たな取組について（諮問）

大阪府では平成 21 年 1 月より、対策地域外から流入する車に対し、排出ガス基準に適合した車を使用するよう求める流入車規制を実施しているが、「大阪府自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画（第 2 次）」の目標をより早期かつ確実に達成するため、環境負荷の大きい大型車を中心とする自動車環境対策の新たな取り組みを検討するとともに、効果的かつ効率的な流入車規制の手法を検討する必要があることから、知事から諮問を行った（石川環境農林水産部長から奥野会長に諮問文を手交）。

審議の結果、専門性が高く、集中的な議論が必要であることから、流入車対策部会で検討を進めることが決定された。

３．循環型社会推進計画について（答申）

平成 27 年 6 月に開催された第 52 回環境審議会における知事からの諮問について、専門的な見地から循環型社会推進計画部会が検討を行い、そのとりまとめ結果が部会長から報告された。審議の結果、報告書の内容を一部修正（修正については、会長に一任）した上で環境審議会の答申とされた。

【答申の主な内容】

○　次期計画の目標（平成 32 年度）の考え方

- 排出量、最終処分量（及び一般廃棄物は１人１日当たりの生活系排出量も）については、国の基本方針の目標と同程度以上の削減を目標とすべき。
- 再生利用量や再生利用率の目標設定に当たっては、再生利用率の算出方法、府域の特性、将来推計値等を踏まえて、十分に検討すべき。

○ 新たな指標の考え方について

- 今後一層の取組みを進めるため、取組みの成果を実感できる新たな指標の設定が必要。

○ 循環型社会の構築に向けた現状と課題及び施策の基本方針について

- リデュース・リユースの推進
  - ・食品ロスなど厨芥類の削減に向け、府民へ働きかける。
  - ・資源化可能な紙類の混入削減など、事業系ごみの排出抑制の取組みを促進する。
  - ・生産工程の見直しによる端材・副産物の発生抑制事例など先進的な取組みに関する情報提供する。
- リサイクルの推進
  - ・府と市町村が情報交換を行っていくことで、より一層、市町村の取組みを促進する。
  - ・資源ロスを少なくするために、排出段階における分別などの取組みを促進する。特に建設混合廃棄物は、排出段階である工事現場での適切な分別により、リサイクルを促進する。
- リサイクルの質の確保と向上
  - ・省資源、資源循環のため、必要なエネルギー量など環境保全の観点や経済的側面等も踏まえ、できる限り素材への再生利用が優先されるよう促す。
- 適正処理の推進
  - ・焼却施設の計画的な長寿命化対策や建替えを進めていくことで、今後とも一般廃棄物を適正に処理する。
  - ・適正な処理費用の負担、契約締結、マニフェスト交付等に係る指導を引き続き徹底する。
  - ・水銀廃棄物等の有害物質を含む廃棄物について適切に区分して排出されるよう指導を徹底する。

４．温泉法に基づく温泉掘削等許可について（温泉部会報告）

知事から諮問のあった温泉法に基づく温泉掘削許可について、平成 27 年 8 月 4 日及び平成 28 年 2 月 26 日に開催した温泉部会で審議し、全て許可することに支障なしと同日付けで答申したことが部会長から報告された。

５．平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について（水質部会報告）

知事から諮問のあった平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について、平成 28 年 2 月 9 日に開催した水質部会で審議し、同日付けで答申を行ったことが部会長から報告された。

６．大阪府地球温暖化対策実行計画及びおおさかヒートアイランド対策推進計画の進捗状況について（温暖化対策部会報告）

「大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「おおさかヒートアイランド

対策推進計画」の進行管理について温暖化対策部会で審議し、進行管理の方法等について部会長から報告された。

７．基金活用事業等の審査結果について（環境・みどり活動促進部会報告）

環境・みどり活動促進部会で審議した、みどりづくり推進事業や環境保全活動補助金事業の審査結果等について、石川委員から報告された。

８．循環型社会形成推進条例に基づくリサイクル製品の認定について（リサイクル製品認定部会報告）

知事から諮問のあったリサイクル製品の認定（9 月 11 日開催分：21 製品、2 月 16 日開催分：47 製品）について、リサイクル製品認定部会で審議し、9 月 11 日開催分は 19 製品、2 月 16 日開催分は 47 製品全てを認定することが適当であると同日付けで答申したことが部会長から報告された。

９．大阪 21 世紀の新環境総合計画の点検評価結果（毎年度サイクル）について（環境総合計画部会報告）

大阪 21 世紀の新環境総合計画の進行管理のため、環境総合計画部会において、「平成 26 年度における豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策」についての点検評価を行ったところ、各施策・事業について概ね適切に自己点検がなされ、順調に進んでいるものと判断したことが部会長から報告された。

以　上